

**第1回白髪一雄現代美術賞受賞者・林葵衣による個展
A-LAB Exhibition Vol.37「有り体を積む」を開催**

尼崎市は、2月23日からアトスペース「A-LAB」（えーらぼ）において、第1回白髪一雄現代美術賞を受賞した林葵衣による展覧会「有り体を積む」を開催します。林は普段、音声や身体のみで独自の形を与え、色彩の残像や音声の保存をテーマに、目に見える形を提示する作品を制作しています。今回の受賞をきっかけに、新たに足を踏み入れた尼崎で、土地を自身で歩き、まちについてリサーチを行いました。その中で見えてきた尼崎の歴史の積み重ねと自身の経験の積み重ねが交わる部分に着目し、新たな制作に取り組みました。有り体に尼崎のまちの姿をうつしながら、林のみが残す痕跡から見えてくる新しい視点を感じてみてください。

1 概要

会 期：令和5年2月23日(木)～3月31日(金)

会 場：A-LAB（尼崎市西長洲町2-33-1）

入場料：無料

時 間：(平日) 午前11時～午後7時 (土・日・祝) 午前10時～午後6時 ※火曜日休館

出展者：林葵衣

問合せ：尼崎市文化振興課（平日のみ午前8時45分～午後5時30分）

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

主 催：尼崎市

協 力：(株)ベイ・コミュニケーションズ

2 関連企画

<トークイベント>

美術家の今井祝雄氏をゲストに迎え、出展作家とのトークイベントを開催。

日時：3月19日(日) 午後2時～午後4時

場所：A-LAB

定員：先着15名

申込：メール (amalove.a.lab@gmail.com) にイベント名・氏名・年齢・電話番号・人数を明記の上、申し込みください。

<ワークショップ>

1 「声のかたちをつくってみよう」

口紅や紙粘土を使って、声のかたちを色々な方法で残してみましよう。

あなたの好きな言葉や残したい言葉をお考えのうえご参加ください。

日時：3月4日(土)、18日(土) 午後2時～午後4時

場所：A-LAB

定員：各回先着10名まで

対象：5歳以上（未就学児は保護者同伴）

2 「はだしの地図をつくってみよう」

はだしで歩き、感触をフロッタージュと言葉でメモして、あなただけのはだしで歩いた地図を一緒につくってみましょう。会場の外にも出かけてみましょう。

日時：3月5日（日）、21日（火・祝） 午後2時～午後4時

場所：A-LAB（3月5日）、小田南生涯学習プラザ（3月21日）

定員：各回先着10名まで

対象：5歳以上（未就学児は保護者同伴）

※ワークショップの申込については、A-LAB ホームページをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によってはイベントを延期・中止することがあります。最新の情報はA-LAB ホームページをご確認ください。

3 本展の見どころ

(1) 第1回白髪一雄現代美術賞受賞者による展示

既存概念にとらわれない前衛作品を発信し世界的に評価された本市ゆかりの現代美術画家・白髪一雄氏にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品を顕彰する白髪一雄現代美術賞の第1回目受賞者である林葵衣による展示です。林独自の技法で作られた作品をお楽しみください。

(2) 尼崎をリサーチした作品

受賞をきっかけに新たに足を踏み入れた尼崎をリサーチし、その中で見えてきた尼崎の歴史や姿等と自身の経験が交わる部分に着目し、新たな視点で制作した初出品の作品をご鑑賞ください。

(3) トークイベントとワークショップの実施

白髪一雄氏も所属した具体美術協会の元会員である美術家の今井祝雄氏をゲストに迎えて、林とのトークイベントや林の技法を体験できるワークショップを開催します。作品を制作した技法を実際に体験することで、より深く作品を鑑賞いただければと思います。

4 作家プロフィール

林 葵衣 | Hayashi Aoi



1988年京都府生まれ。2013年京都造形芸術大学修士課程修了。音声をはじめとする身体のふるまいに独自の形を与え提示している。

主な個展に2022年「息骨に触れる」KUNST ARZT(京都)、2020年「息差しの型取り」+2(大阪)、「一振りの音」+2(大阪)、「遊動躰」Gallery PARC(京都)など。

2020年度第4期常設展「画家の痕跡」高松市美術館(香川)、2018年「VOCA展」上野の森美術館(東京)に参加。

2022年第1回白髪一雄現代美術賞、2015年第63回芦屋市展吉原賞を受賞。

以上

第一回白髪一雄現代美術賞受賞者個展

A-LAB Exhibition Vol.37

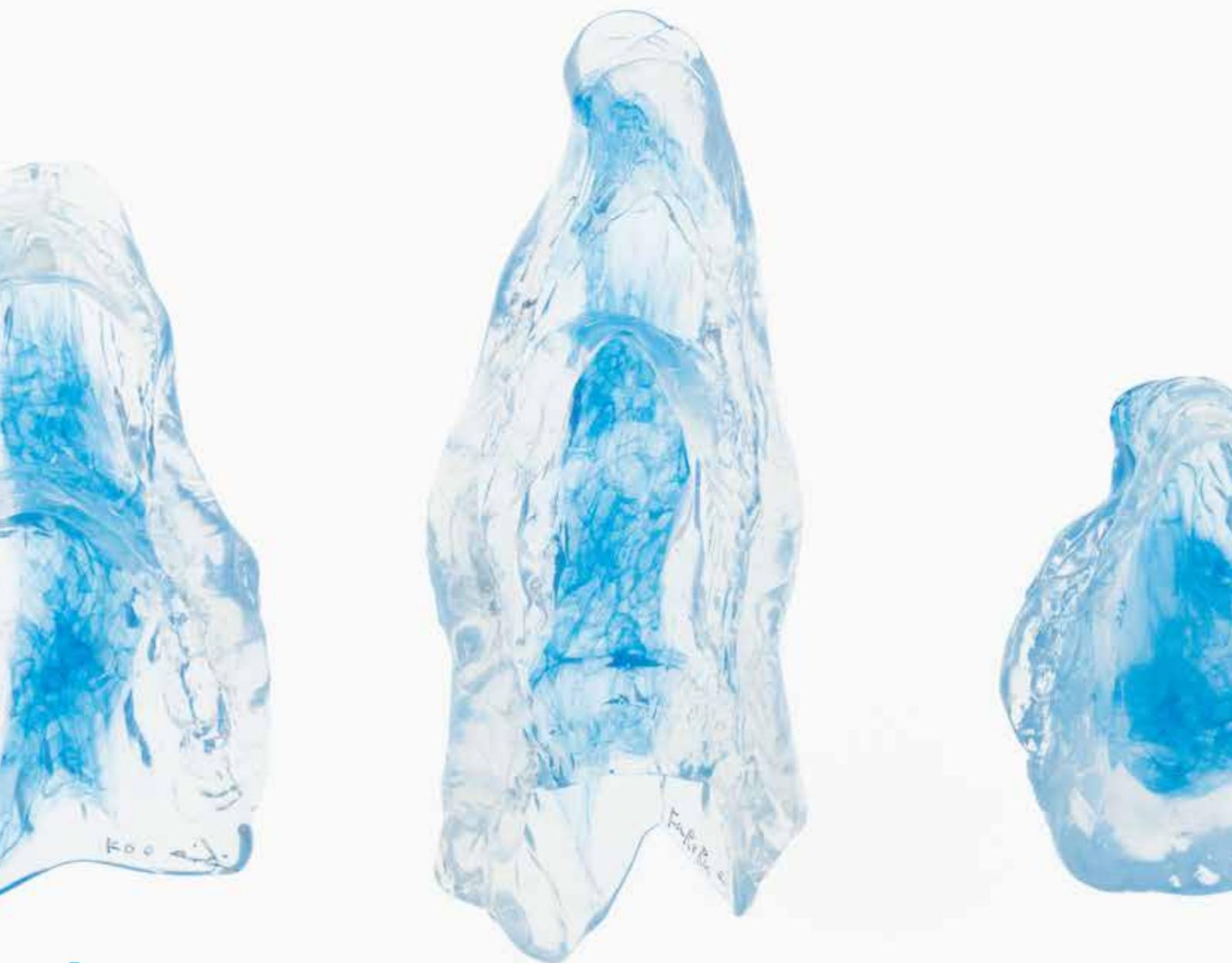
有り体を

積む

林葵衣

Layering Behaviors

Hayashi Aoi



2023.2.23 | 木 | — 3.31 | 金 |

A
LAB

左より:

《Phonation piece -こえ/Koe-》(部分) 2022, 120×78×30mm, ポリエチレン樹脂

《Phonation piece -ふれる/Fureru-》2022, 140×55×25mm, ポリエチレン樹脂

《Phonation piece -あ/a-》(部分) 2022, 75×65×30mm, ポリエチレン樹脂

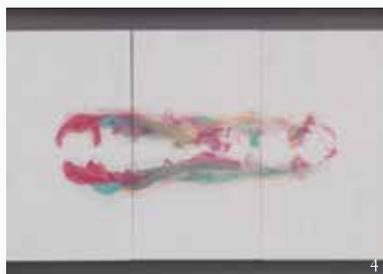
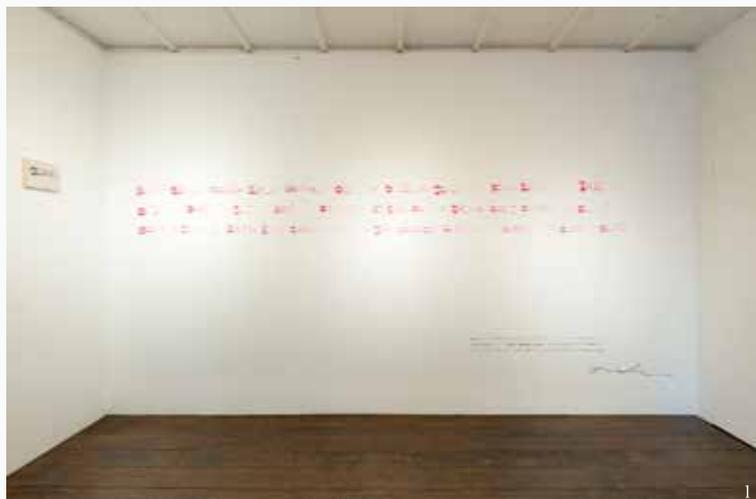
有り体を積む 林葵衣

Layering Behaviors: Hayashi Aoi

2023.2.23|木|—3.31|金|

開館時間=平日 11:00-19:00、土日祝 10:00-18:00

休館日=火曜日(3月21日開館、翌日22日休館) 入場無料



1. 「声の痕跡／Trace of voice」(KUNST ARZT、京都、2017) 展示風景 撮影：守屋友樹
2. 「Playing Body / 遊動跡」(Gallery PARC、京都、2020)におけるパフォーマンス
「跡の延長」林葵衣×今村達紀 記録写真 撮影：守屋友樹
3. 《Phonation piece -internal-》2021, 160×80×60mm, ポリエチレン樹脂 撮影：守屋友樹
4. Cut-up of Voice 《Koe》2020, サイズ可変, キャンバス・口紅



林 葵衣 | Hayashi Aoi

1988年京都府生まれ。2013年京都造形芸術大学修士課程修了。音声をはじめとする身体のふるまいに独自の形を与え提示している。

主な個展に2022年「息骨に触れる」KUNST ARZT(京都)、2020年「息差しの型取り」+2(大阪)、「一振りの音」+2(大阪)、「遊動跡」Gallery PARC(京都)など。2020年度第4期常設展「画家の痕跡」高松市美術館(香川)、2018年「VOCA展」上野の森美術館(東京)に参加。

2022年第1回白髪一雄現代美術賞、2015年第63回芦屋市展吉原賞を受賞。

第1回白髪一雄現代美術賞を受賞した林葵衣による展覧会「有り体を積む」を開催します。

林は普段、音声や身体ふるまいに独自の形を与え、色彩の残像や音声の保存をテーマに、目に見える形を提示する作品を制作しています。今回の受賞をきっかけに、新たに足を踏み入れた尼崎で、土地を自身で歩き、まちについてリサーチを行いました。その中で見えてきた尼崎の歴史の積み重ねと自身の経験の積み重ねが交わる部分に着目し、新たな制作に取り組みました。有り体に尼崎のまちの姿をうつしながら、林のふるまいが残す痕跡から見えてくる新しい視点を感じてみてください。

白髪一雄現代美術賞

尼崎市では、既成概念にとらわれない前衛作品を発信し世界的に評価された本市ゆかりの現代美術家・白髪一雄氏にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力ある現代美術作品を顕彰し、若手アーティストのこれからの活躍を応援しています。

[ワークショップ]

1. 「声のかたちをつくってみよう」

口紅や紙粘土を使って、声のかたちを色々な方法で残してみましょう。あなたの好きな言葉や残したい言葉をお考えのうえご参加ください。

日時：2023年3月4日(土)、18日(土) 14:00-16:00

場所：A-LAB 定員：各回先着10名まで

対象：5才以上(未就学児は保護者同伴)

2. 「はだしの地図をつくってみよう」

はだしで歩き、感触をフロッタージュと言葉でメモして、あなただけのはだしで歩いた地図を一緒につくってみましょう。会場の外にも出かけてみましょう。

日時：2023年3月5日(日)、21日(火・祝) 14:00-16:00

場所：A-LAB(3/5)、小田南生涯学習プラザ(3/21)

定員：各回先着10名まで

対象：5才以上(未就学児は保護者同伴)

※ワークショップの申込についてはA-LABホームページをご確認ください。

[トークイベント]

美術家の今井祝雄氏をゲストに迎え、出展作家とのトークイベントを開催。

日時：3月19日(日) 14:00-16:00

場所：A-LAB 定員：先着15名

申込：メールにて(amalove.a.lab@gmail.com)

※イベント名・氏名・年齢・電話番号・人数を明記ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によってはイベントを延期・中止することがあります。最新の情報はホームページをご確認ください。

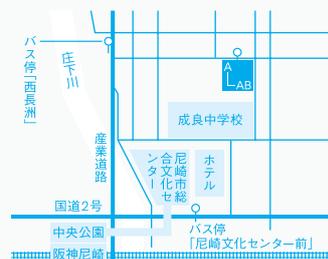
A-LAB

〒660-0805 尼崎市西長洲町2-33-1

Tel/Fax. 06-7163-7108

<http://www.ama-a-lab.com/>

※会場に一般用駐車場はありません。



協力：Baycom



問い合わせ：尼崎市役所文化振興課 Tel. 06-6489-6385



会期	2023年2月23日(木)~3月31日(金)
開館時間	(平日) 午前11時~午後7時 (土・日・祝日) 午前10時~午後6時
会場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休館日	火曜日
入場料	無料
主催	尼崎市
協力	 Baycom

開催要旨

第1回白髪一雄現代美術賞を受賞した林葵衣による展覧会「有り体を積む」を開催します。

林は普段、音声や身体ふるまいに独自の形を与え、色彩の残像や音声の保存をテーマに、目に見える形を提示する作品を制作しています。今回の受賞をきっかけに、新たに足を踏み入れた尼崎で、土地を自身で歩き、まちについてリサーチを行いました。その中で見えてきた尼崎の歴史の積み重ねと自身の経験の積み重ねが交わる部分に着目し、新たな制作に取り組みました。有り体に尼崎のまちの姿をうつしながら、林のふるまいが残す痕跡から見えてくる新しい視点を感じてみてください。

白髪一雄現代美術賞 | 尼崎市では、既成概念にとらわれない前衛作品を発信し世界的に評価された本市ゆかりの現代美術画家・白髪一雄氏にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力ある現代美術作品を顕彰し、若手アーティストのこれからの活躍を応援しています。

関連イベント

トークイベント

美術家の今井祝雄氏をゲストに迎え、出展作家とのトークイベントを開催。

日時：3月19日(日)14:00-16:00 場所：A-LAB 定員：先着15名

申込：メールにて(amalove.a.lab@gmail.com)

ワークショップ

1.「声のかたちをつくってみよう」

口紅や紙粘上を使って、声のかたちを色々な方法で残してみましよう。

あなたの好きな言葉や残したい言葉をお考えのうえご参加ください

日時：3月4日(土)、18日(土)14:00-16:00

場所：A-LAB 定員：各回先着各10名まで

対象：5才以上(未就学児は保護者同伴)

2.「はだしの地図をつくってみよう」

はだしで歩き、感触をフロッターージュと言葉でメモして、あなただけのはだしで歩いた地図を一緒につくってみましよう。会場の外にも出かけてみましよう。

日時：3月5日(日)、21日(火・祝)14:00-16:00

場所：A-LAB(3/5)、小田南生涯学習プラザ(3/21)

定員：各回先着10名まで対象 5才以上(未就学児は保護者同伴)

※ワークショップの申込についてはA-LABホームページをご確認ください

※新型コロナウイルス感染症の状況によってはイベントを延期・中止することがあります。最新の情報はホームページをご確認ください。

広報用画像

このプレスリリースに掲載されている画像データ(※5~8 ページ参照)をプレス掲載用にご用意しております。下記の使用条件をご了承の上、A-LAB までお申し込みください。

使用条件

- ・ 広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットをご表示ください。
 - ・ トリミングや画像加工などはご遠慮ください。
 - ・ アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。
- 以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

尼崎市文化振興課（平日 8 時 45 分～午後 5 時 30 分のみ）

担当：原田、藤平

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

A-LAB（火曜日休館）担当：八木、高岡

電話 / FAX 06-7163-7108 メール amalove.a.lab@gmail.com

作家略歴

林 葵衣 | Hayashi Aoi

1988年京都生まれ。2013年京都造形芸術大学博士課程修了。
音声をはじめとする身体ふるまいに独自の形を与え提供している。
主な個展に2022年「息を呑む」KUNSTARZT（京都）、2020年「息
差しの型取り」+2（大阪）、「一振りの音」+2（大阪）、「遊動躰」
Gallery PARC（京都）など。2020年第4期常設展「画家の痕跡」
高松美術館（香川）、2018年「VOCA展」上野の森美術館（東京）
に参加。

2022年第1回白髪一雄現代美術賞、2015年第63回芦屋市展吉
原賞受賞。



参考図版



1



2



3



4

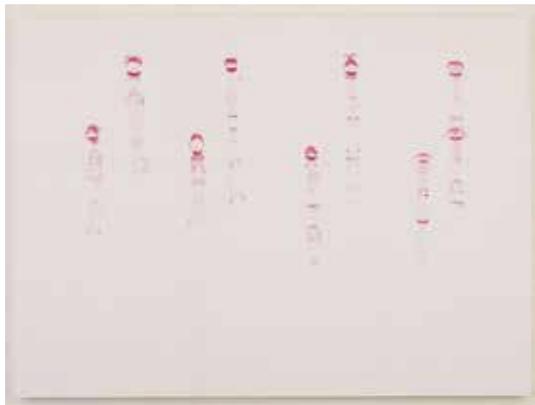


5



6

参考図版



7



8



9



10



11

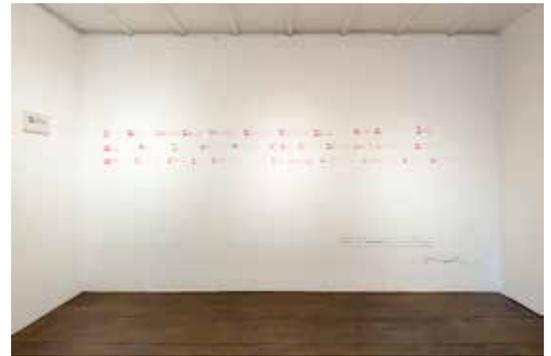


12

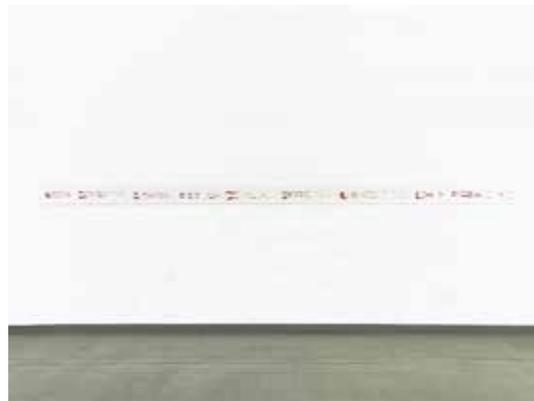
参考図版



13



14



15



16



17

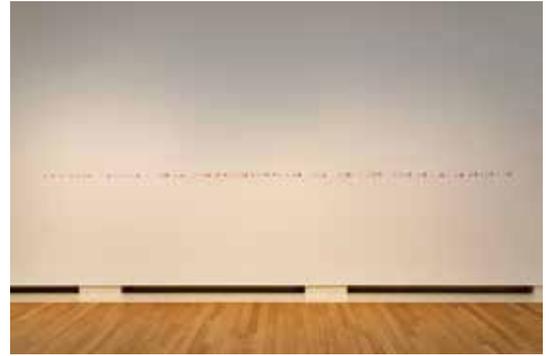


18

参考図版



19



20



21

参考図版

1. 林 葵衣 | 『Monophony』 | 2018
2. 林 葵衣 | 『BIG BOOK_silence』 | 2019
3. 林 葵衣 | 『躰の延長』 | 2020 | 撮影：守屋友樹
4. 林 葵衣 | 『袋いりますか?』 | 2020
5. 林 葵衣 | 『film』 | 2017
6. 林 葵衣 | 『How are you_03』 | 2020
7. 林 葵衣 | 『いろは歌』 | 2019
8. 林 葵衣 | 『Koe』 | 2020
9. 林 葵衣 | 『雨』 | 2017
10. 林 葵衣 | 『とり』 | 2020
11. 林 葵衣 | 『Phonation piece - syllabary - 』 | 2022 | 撮影：守屋友樹
12. 林 葵衣 | 『Phonation piece - あ | a-』 | 2021 | 撮影：守屋友樹
13. 林 葵衣 | 『Phonation piece-internal-』 | 2021 | 撮影：守屋友樹
14. 林 葵衣 | 『声の痕跡 | Trace of voice』 | 2017 | 撮影：守屋友樹
15. 林 葵衣 | 『声の遠近法 _ Perspective of voice』 | 2018 | 撮影：上野則宏
16. 林 葵衣 | 『声の遠近法 _ Perspective of voice』 | 2018 | 撮影：上野則宏
17. 林 葵衣 | 『Phonation -palindrome-』 | 2021
18. 林 葵衣 | 『Phonation -palindrome-』 | 2021
19. 林 葵衣 | 『palindrome』 | 2021
20. 林 葵衣 | 『palindrome』 | 2021
21. 林 葵衣 | 『palindrome』 | 2021